

備前市立図書館整備事業検討資料

…{比較のための整備事例}…

令和3年1月

備前市立図書館

目 次

第1章 事業の背景と目的・経過	・・・P.1
1 背景	
2 目的	
3 経過	
第2章 基本理念・方針	・・・P.2
1 基本コンセプト	
2 図書館の役割	
3 目指す図書館像	
第3章 図書館整備の基本方針の考え方	
1 施設規模の考え方	
2 管理運営の考え方	
3 立地の考え方	
4 図書館施設の整備 ～3つのケース～	
第4章 図書館整備（計画案／マスタープラン）	・・・P.3
～3つのケース（「備前市立図書館整備基本構想」より）～	
〔ケース1〕 既存の備前市立図書館の増改築（備前市市民センター）	
①-A	・・・P.3
①-B	・・・P.21
〔ケース2〕 他の既存施設をリノベーションし、図書館として利用	・・・P.38
〔ケース3〕 交通の利便性がよく、広い土地を確保できる場所へ新図書館を建設	・・・P.39
参考資料	
県下11市の各館の状況（一覧表）	・・・P.51
（※1岡山市・2倉敷市・3津山市及び10備前市を除く、県下15市中の11市の状況）	

第1章 事業の背景・目的と経過

1-1 背景

備前市では、「第2次備前市総合計画（後期基本計画）」において、図書館を知識拠点施設として市民ニーズに対応していけるよう、利用しやすい環境づくりを工夫した施設整備について検討していくことを掲げており、これに基づき令和2年3月に「備前市立図書館整備基本構想(以下「基本構想」という。)」を策定した。策定にあたっては図書館利用者をはじめとした市民参加によるワークショップの開催、図書館利用実態等の市民アンケートの実施など、基本構想をより実効性のあるものにするための方策を行ってきた。

基本構想では、図書館施設の整備に係る3つのケース（①既存施設の増改築、②他施設のリノベーションによる、③新たな敷地への新築）が挙げられており、今後、具体的な整備のケース（方針）について比較検討し、熟議を経て方針を定め、基本計画へと駒を進める必要がある。

そのため、これら3ケースについて、比較検証するための資料づくりが急務となっている。

1-2 目的

これまでに備前市立図書館は、床面積が狭小であり、“書籍が探しづらい、取り出しにくい”などの様々な指摘がされてきた。そのうえ蔵書能力が限界状態にあるため、収蔵・配架にも問題が生じて来ている。また、近隣市町の図書館との比較の上でも人口規模に比して小規模であることで市民サービスに差が生じており、従来から大幅な増床をするか或いは新築移転するかの議論がある。

令和元年度策定した「備前市立図書館整備基本構想」による目標規模では、床面積が概ね2,300㎡、蔵書数が16万冊となっており、現状の蔵書数はその約1/2（運営上は閉架分を別の場所に保管）であり、床面積当たりでは約1/8と大きく下回っており、著しく狭小であることが挙げられている。

今後、図書館を『教育のまち備前』を象徴する拠点施設として整備するに当たり、これまでの市民・利用者ニーズを基に、備前市立図書館の機能アップと各分館その他公共施設等との連携や整備・運営方針の検討等と、それらを踏まえた「備前市立図書館整備事業調査(以下「調査業務」という。)」を行い、備前市における図書館整備事業の方向性を見定める指針とすることを目的とする。

1-3 経過

《備前市立図書館整備の検討経過》

日 程		内 容
平成30年	11月	「図書館の利用実態等に関するアンケート」の実施 [10月27日～11月30日]
	12月	新図書館整備基本構想策定委員会① [12月26日]
令和元年	通年	新図書館整備基本構想策定委員会②～④
	7月	「図書館利用等に関する市民アンケート」の実施 [6月中旬～7月5日]
令和2年	3月	「備前市図書館整備基本構想」策定

第2章 基本理念・方針

(※「備前市立図書館整備基本構想」より)

2-1 基本コンセプト

- ・「学び 発見 集う 図書館」(教育のまち：生涯学習や知識の拠点施設)
- ・蔵書充実、情報・サービス提供、司書・図書館職員の充実と能力向上
- ・“誰もが会話を楽しむ、本をじっくり読む、ゆっくり時間を過ごす「憩いの場所・交流の場」”

2-2 図書館の役割

知的好奇心支援、子どもの成長と子育て世代の応援、文化・芸術や郷土資料の収集と提供、高齢者や障がい者へのサービス提供、乳児から高齢者までの全市民の憩いの場

2-3 目指す図書館像

市民の学びや問題解決を支援、子どもの成長を支える、暮らしに役立ち地域を支える、市民の居場所

第3章 図書館整備の基本方針の考え方

(※「備前市立図書館整備基本構想」より)

3-1 施設規模の考え方 (生涯学習審議会)・(日本図書館協会)による平均的な考え方

延床面積等・・・2, 300㎡

蔵書数160, 000冊、開架冊数120, 000冊、年間増加冊数10, 000冊

職員数14人

3-2 管理運営の考え方

- ・図書館法第17条、学校図書館連携支援、司書職員確保等
- ・新型コロナウイルス感染症に係る「新しい生活様式」への保健衛生面の対応
(With コロナの時代の「新しい生活様式」に沿った公共施設の活動スタイル)

3-3 立地の考え方

- ① 地域を支える情報拠点として、市役所や公民館などの生活拠点エリアにある場所
- ② 公共交通機関や自家用車などの交通の利便性がよく、広い駐車場が確保できる場所
- ③ 読書支援や情報を発信するため、学校・幼保・こども園などが近在する場所

3-4 図書館施設の整備

- ① 既存の備前市立図書館の増改築(備前市市民センター)
- ② 他の既存施設をリノベーションし、図書館として利用
- ③ 交通の利便性がよく、広い土地を確保できる場所へ新図書館を建設

第4章 図書館整備（計画案／マスタープラン）

～3つのケース～

（「備前市立図書館整備基本構想」3-4 図書館施設の整備より）

〔ケース1〕既存の備前市立図書館の増改築

①－A

貸館を無くし

「図書館」と「ホール」の大きく2つの機能の施設とした場合



北面イメージ



東面イメージ



南面イメージ



西面イメージ



東側 出入口



展示ロビー前



一般開架書架



児童開架書架



エントランスホール前ロビー



展示ロビー



開放図書テラス



多目的スペース



閉架書庫
1階



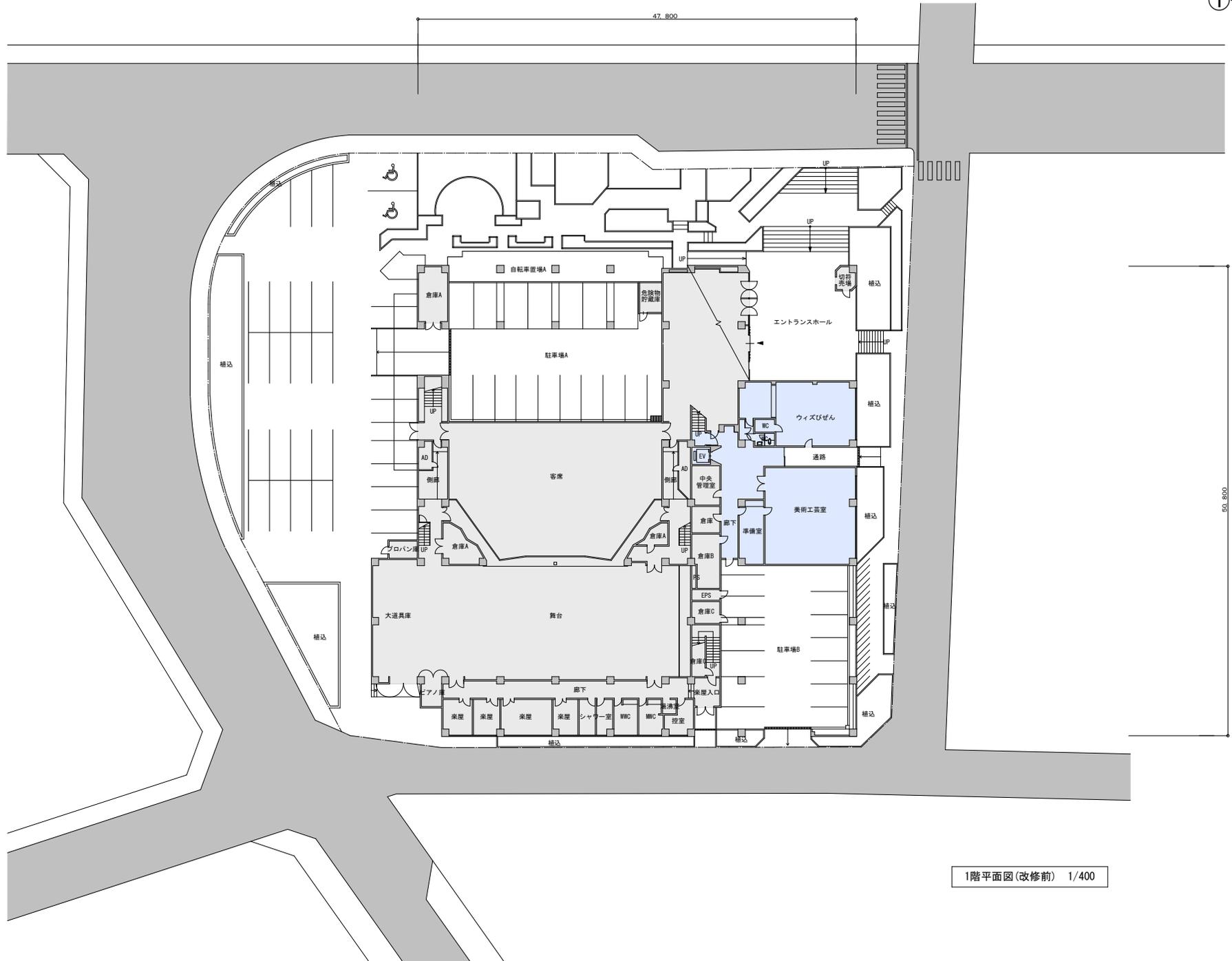
展示ロビー
2階



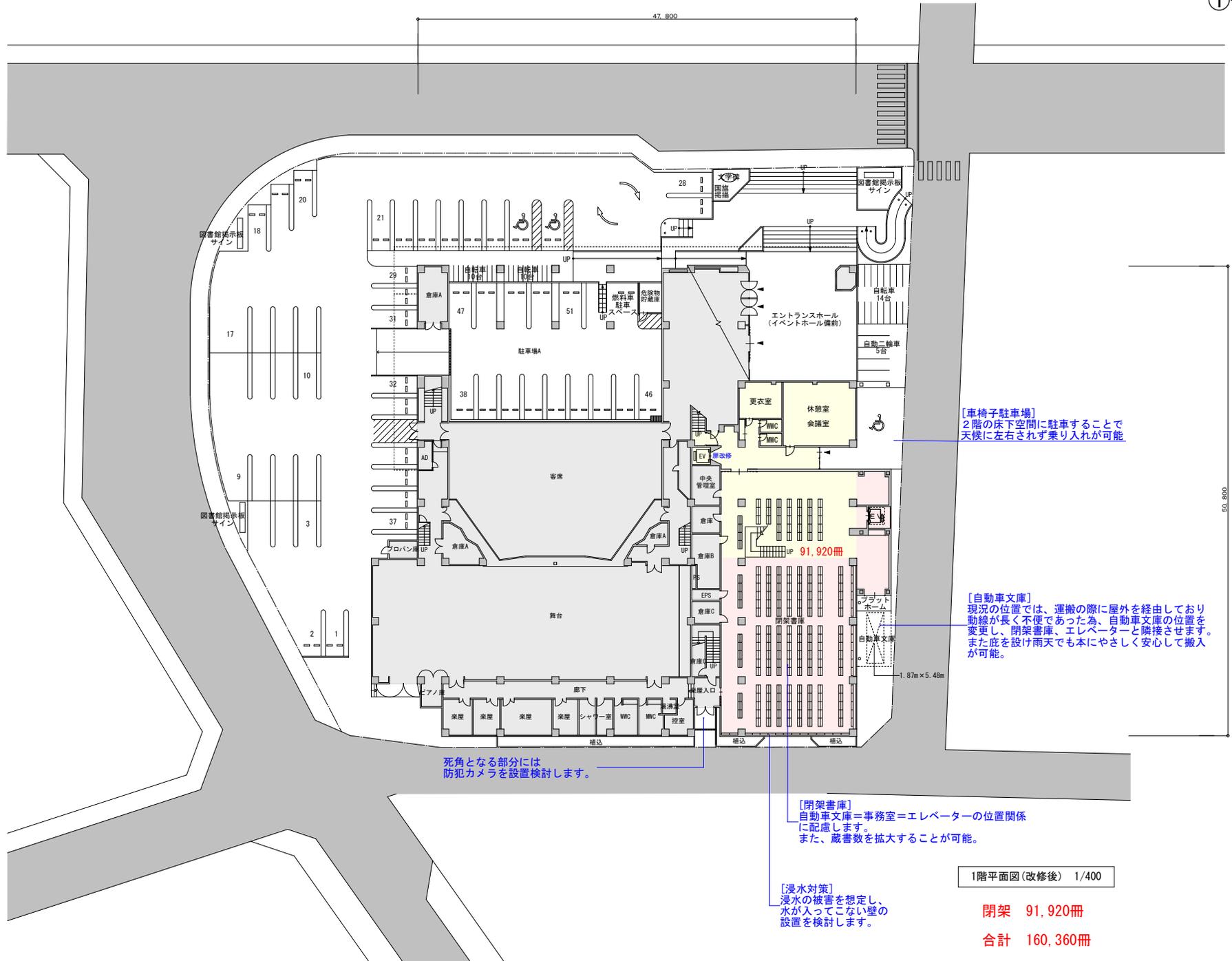
カフェ
3階



参考書架郷土行政開架
4階



1階平面図(改修前) 1/400



[車椅子駐車場]
2階の床下空間に駐車することで
天候に左右されず乗り入れが可能

[自動車文庫]
現況の位置では、運搬の際に屋外を經由しており
動線が長く不便であった為、自動車文庫の位置を
変更し、閉架書庫、エレベーターと隣接させます。
また庇を設け雨天でも本にやさしく安心して搬入
が可能。

死角となる部分には
防犯カメラを設置検討します。

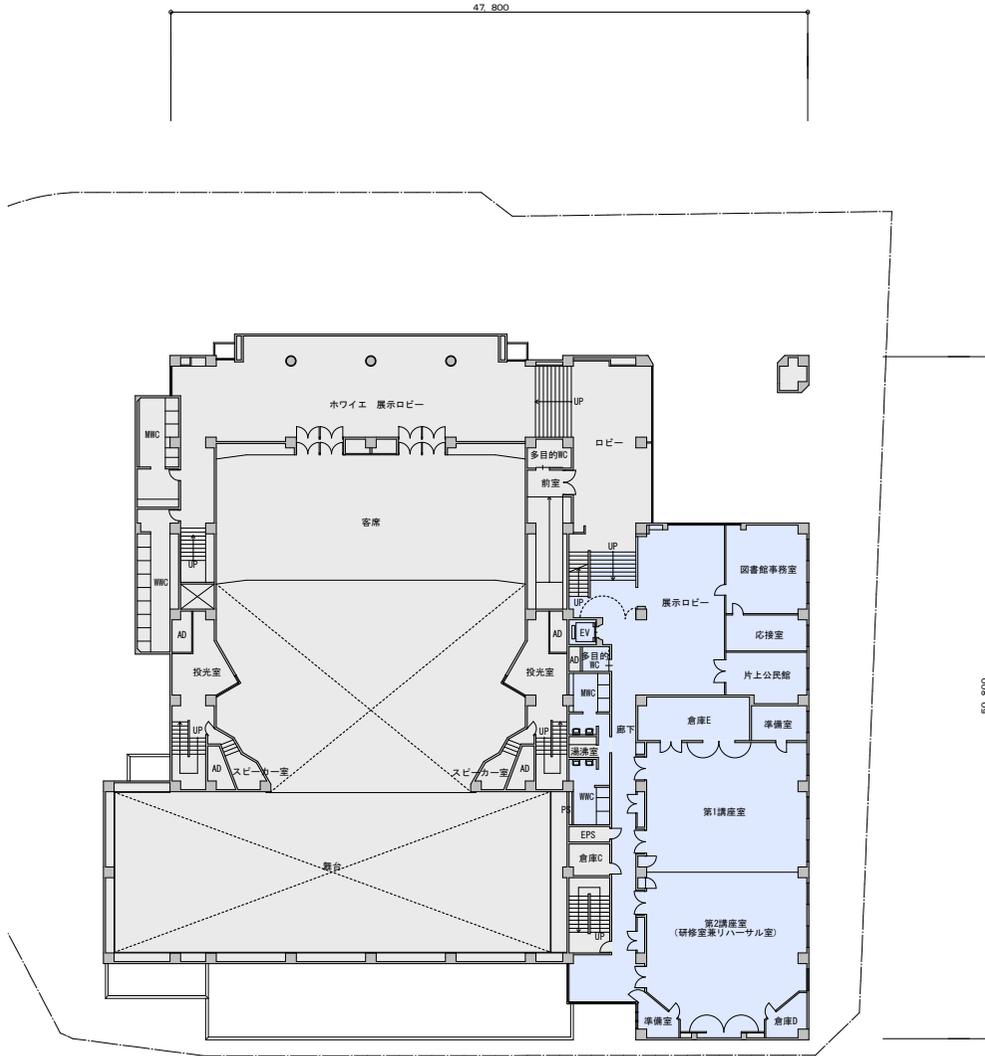
[閉架書庫]
自動車文庫=事務室=エレベーターの位置関係
に配慮します。
また、蔵書数を拡大することが可能。

[浸水対策]
浸水の被害を想定し、
水が入ってこない壁の
設置を検討します。

1階平面図(改修後) 1/400

閉架 91,920冊
合計 160,360冊

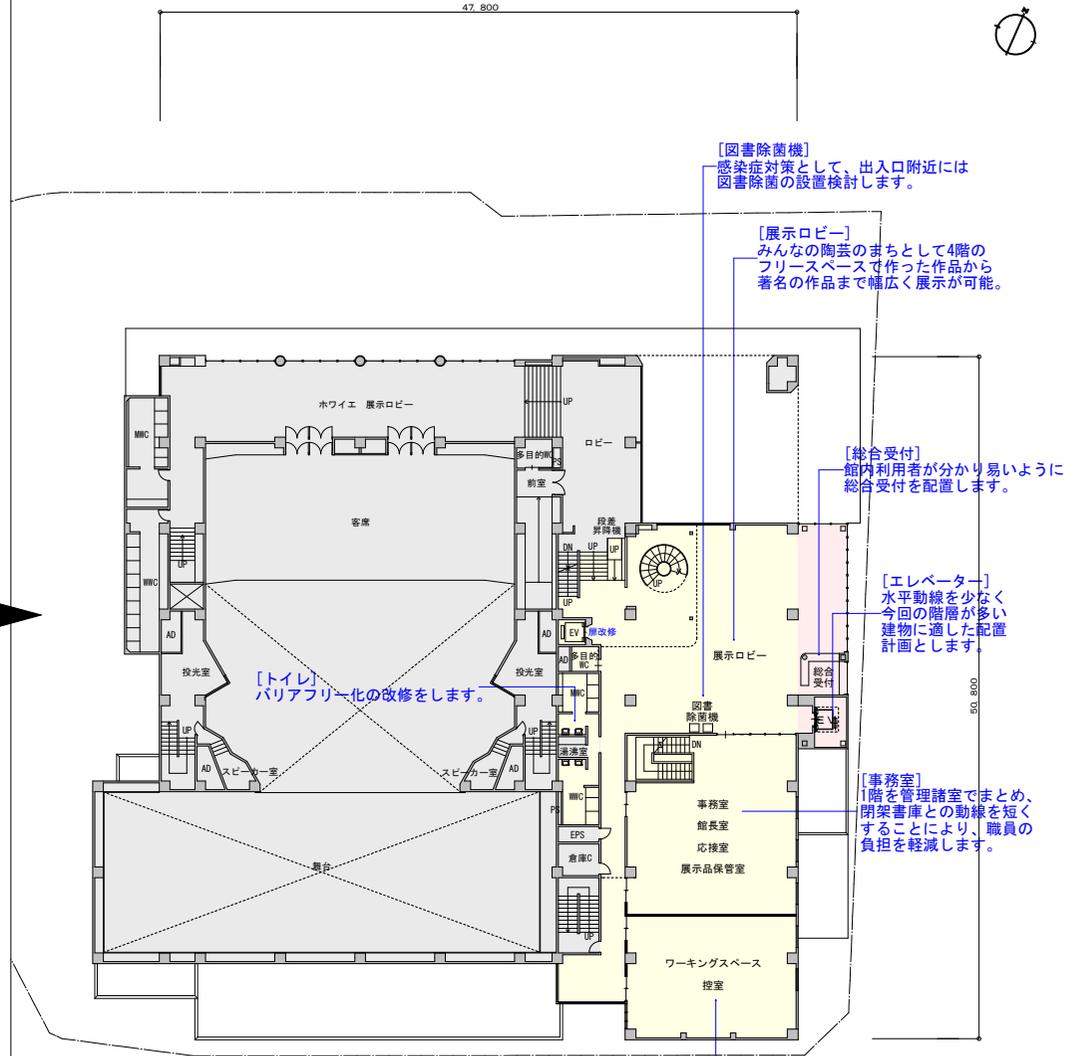
改修前



2階平面図(改修前) 1/400

改修後

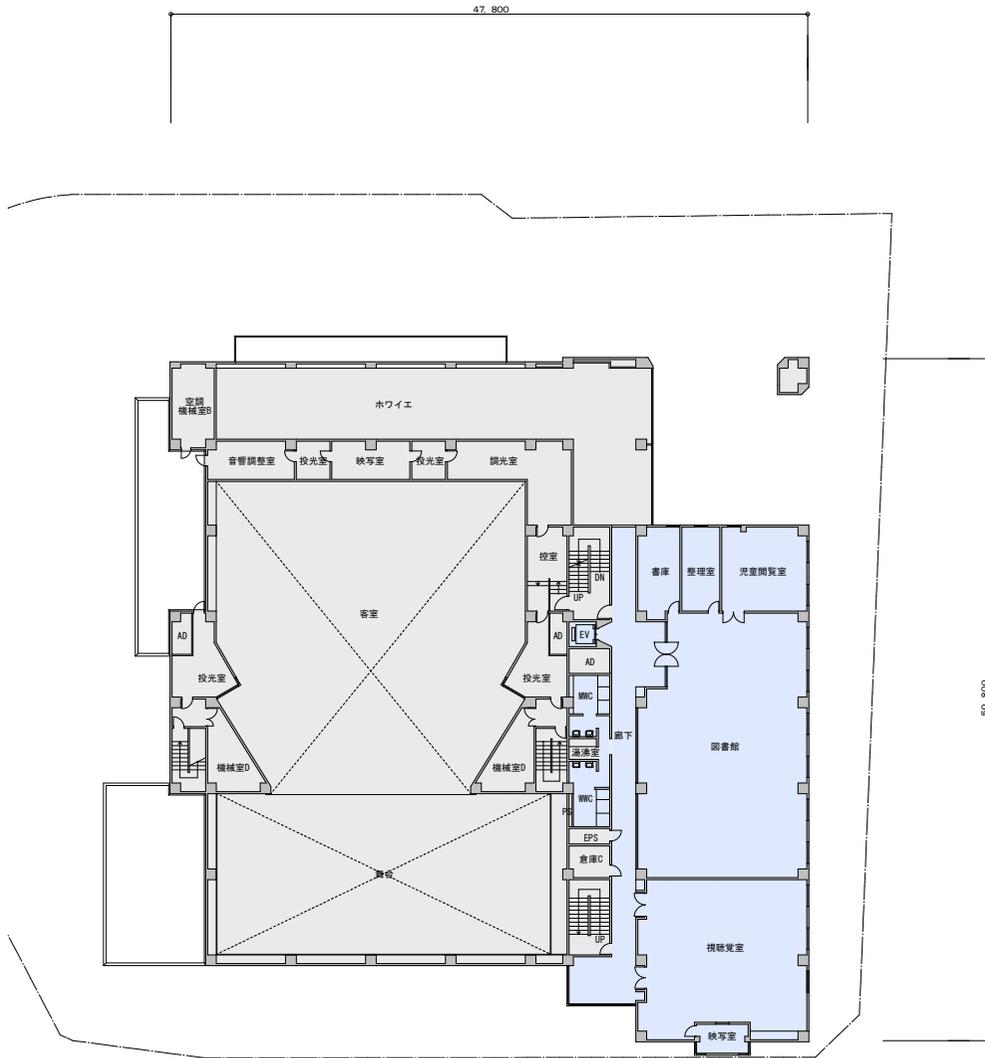
①-A 2階平面図



2階平面図(改修後) 1/400

- [図書除菌機]
感染症対策として、出入口付近には図書除菌機の設置を検討します。
- [展示ロビー]
みんなの陶芸のまちとして4階のフリースペースで作った作品から著名の作品まで幅広く展示が可能。
- [総合受付]
館内利用者が分かり易いように総合受付を配置します。
- [エレベーター]
水平動線を少なく今回の階層が多い建物に適した配置計画とします。
- [トイレ]
バリアフリー化の改修をします。
- [事務室]
1階を管理諸室でまとめ、閉架書庫との動線を短くすることにより、職員の負担を軽減します。
- [ワーキングスペース 控室]
より多くの活用方法に対応できるように多目的室を配置。舞台レッスンやストレッチスペースなど利用が可能。また、控室としても利用します。

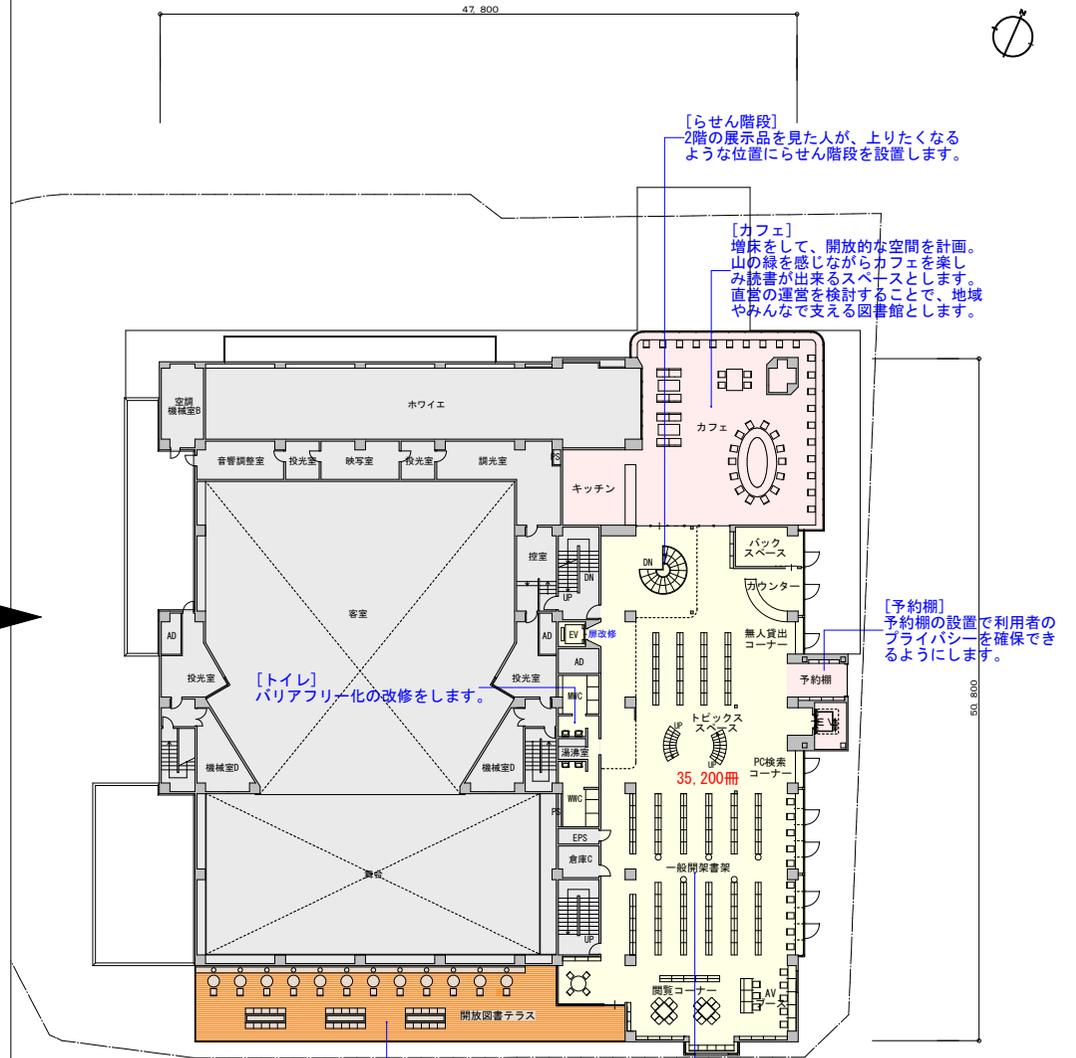
改修前



3階平面図(改修前) 1/400

改修後

①-A 3階平面図



3階平面図(改修後) 1/400

一般 35,200冊
※5段 44,000冊

[らせん階段]
2階の展示品を見た人が、上りたくなるような位置にらせん階段を設置します。

[カフェ]
増床をして、開放的な空間を計画。山の緑を感じながらカフェを楽しみ読書ができるスペースとします。直営の運営を検討することで、地域やみんなが支える図書館とします。

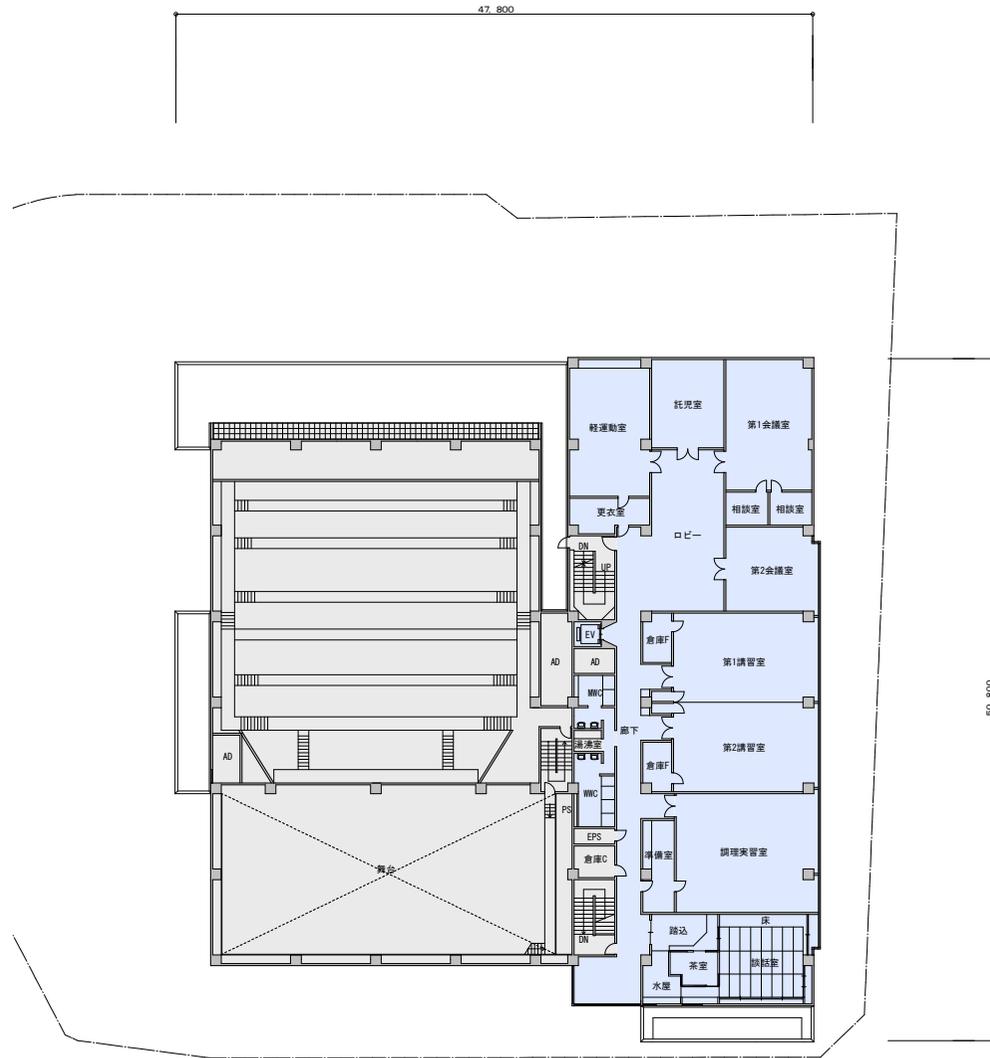
[トイレ]
バリアフリー化の改修をします。

[予約棚]
予約棚の設置で利用者のプライバシーを確保できるようにします。

[開放図書テラス]
片上湾の水面の輝きや波のしらべを感じながら、開放図書として屋外で読書ができるコーナーを設けます。

[一般開架書架]
既存間仕切り壁を撤去し開放的な空間を確保。3・4階の書棚は荷重制限と見通しを良くする為、低書架とします。

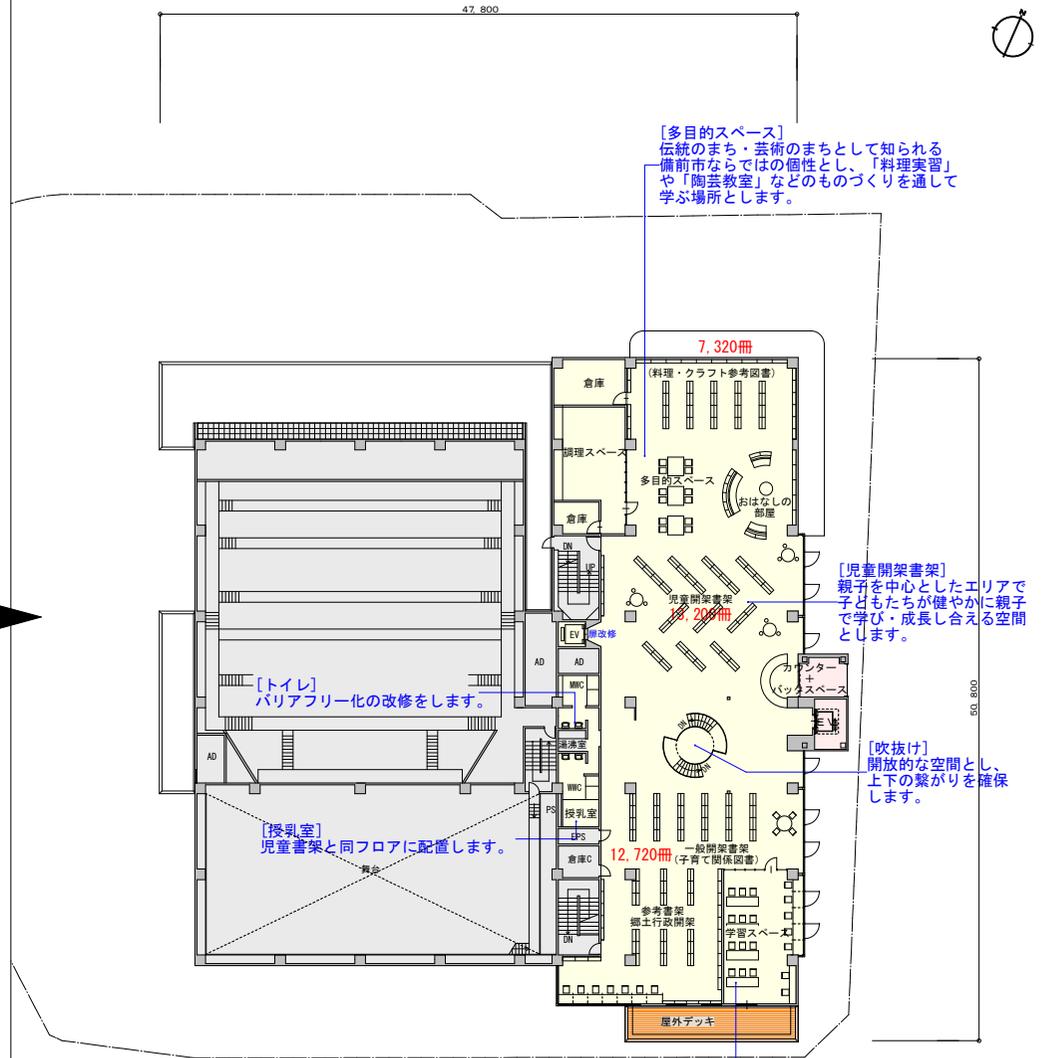
改修前



4階平面図(改修前) 1/400

改修後

①-A 4階平面図



4階平面図(改修後) 1/400

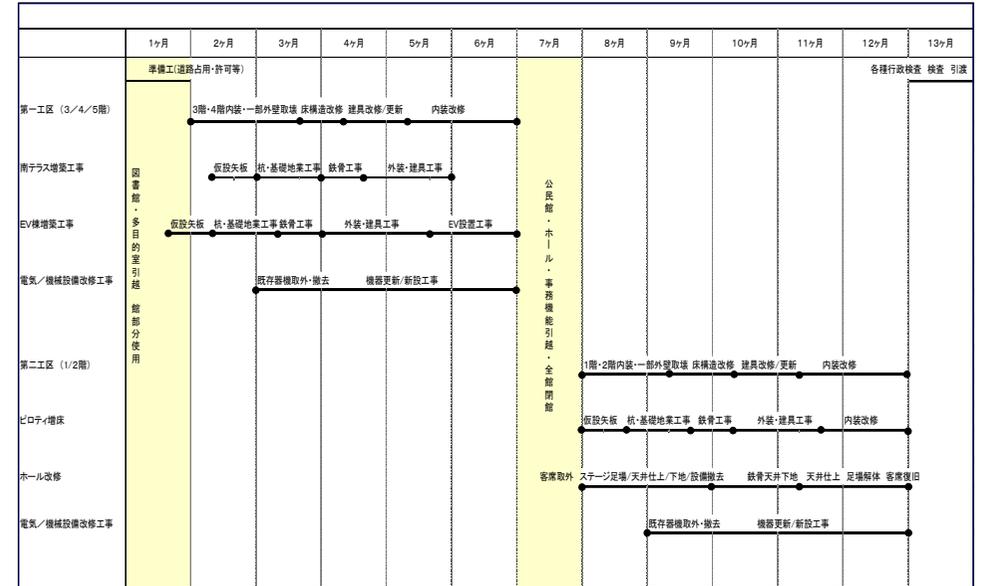
児童 13,200冊

一般 20,040冊

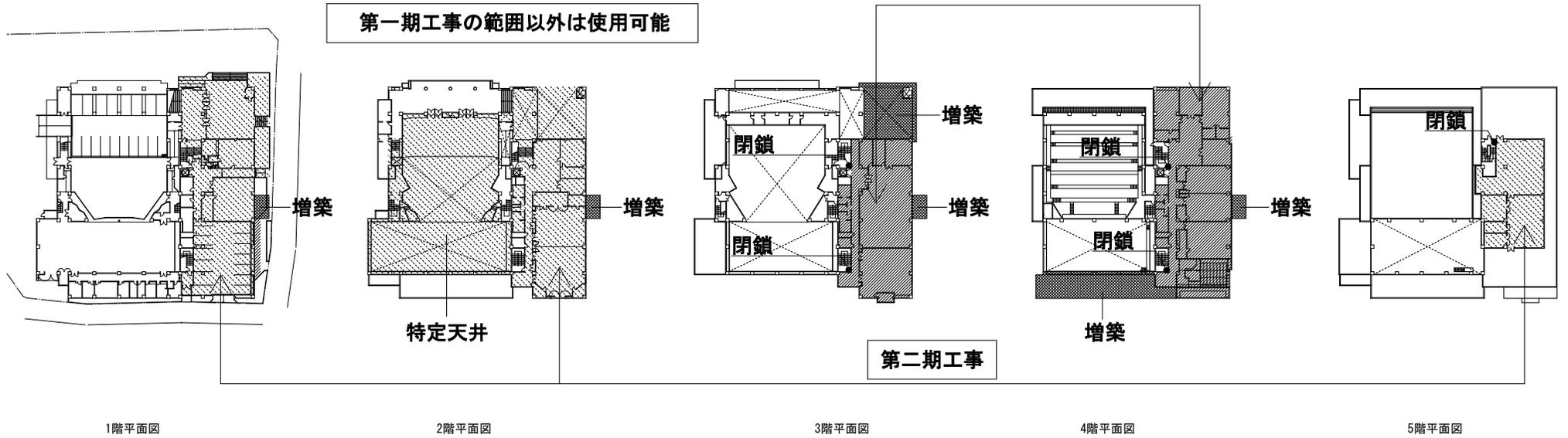
工事費概算見積

工事概算 合計 1,308,600,000 (円(消費税込))		
区分	金額	
	既存改修部分	増築・増床部分
建設費	772,200,000 (円)	411,400,000 (円)
仮設工事		
取壊工事	48,000,000 (円)	19,000,000 (円)
基礎工事	106,000,000 (円)	81,000,000 (円)
躯体工事		
外装工事		
防水工事		
建具工事	180,000,000 (円)	116,000,000 (円)
内装工事		
ユニット工事		
電気受変電設備工事	96,000,000 (円)	35,000,000 (円)
電気設備工事		
空調調和設備工事	117,000,000 (円)	43,000,000 (円)
衛生設備工事		
昇降機設備工事		30,000,000 (円)
建築延床面積	2,240 (㎡)	868 (㎡)
坪単価	1,036 (千円/坪)	1,424 (千円/坪)
外構工事	48,000,000 (円)	
共通仮設		
現場管理費	107,000,000 (円)	50,000,000 (円)
一般管理費		
消費税	70,200,000 (円)	37,400,000 (円)

特定天井改修工事 125,000,000 (円)	
仮設工事	11,250,000 (円)
取壊工事	7,500,000 (円)
躯体工事	17,800,000 (円)
内装改修工事	13,750,000 (円)
電気設備改修工事	11,437,000 (円)
機械設備改修工事	20,000,000 (円)
共通仮設	3,750,000 (円)
現場管理費	9,425,000 (円)
一般管理費	17,587,000 (円)
消費税	12,500,000 (円)



第一期工事



第二期工事

〔ケース 1〕 既存の備前市立図書館の増改築

①－B

ホールと貸館部分は残し
図書館部分を大幅に増床した場合



北面イメージ



東面イメージ



南面イメージ



西面イメージ



エントランスホール



増築 児童開架書架



一般開架書架



多目的スペース
料理調理室
和室



カフェ



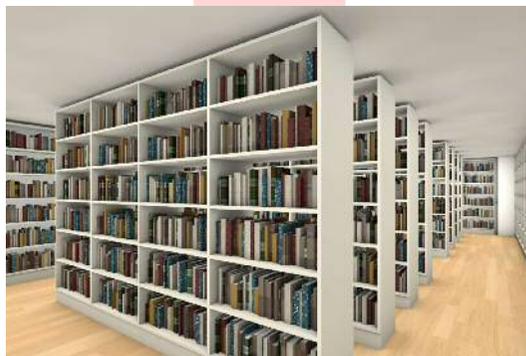
児童開架書架



参考書架郷土行政開架



学習スペース
研究スペース



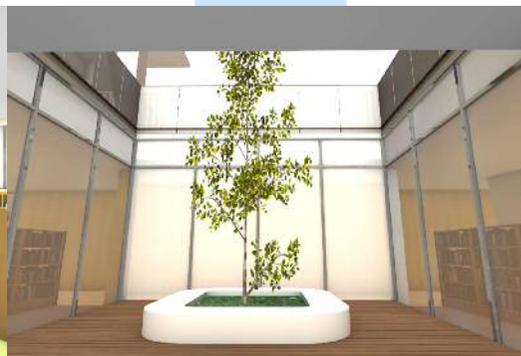
閉架書庫

1階



おはなしの部屋

2階



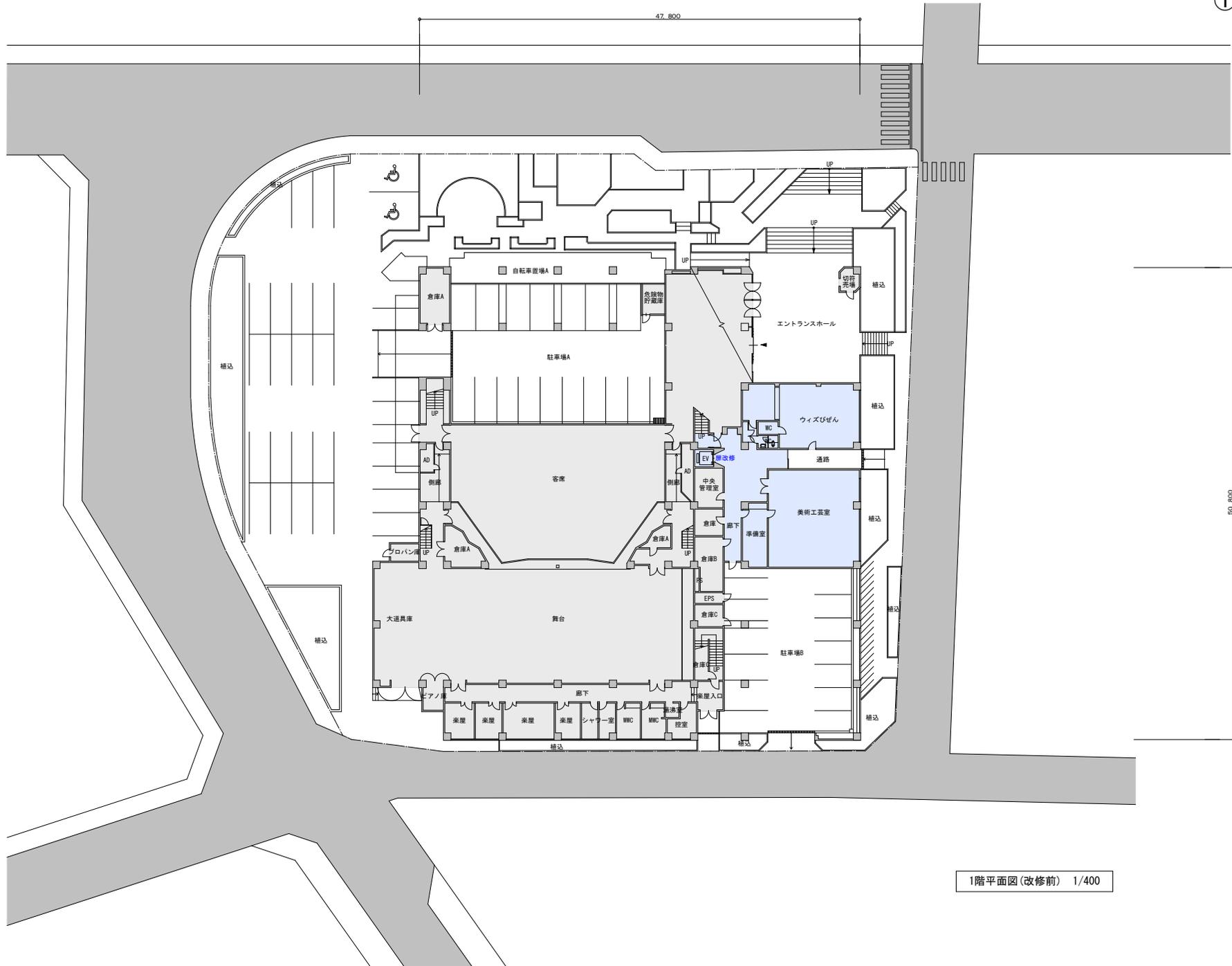
屋外テラス

3階

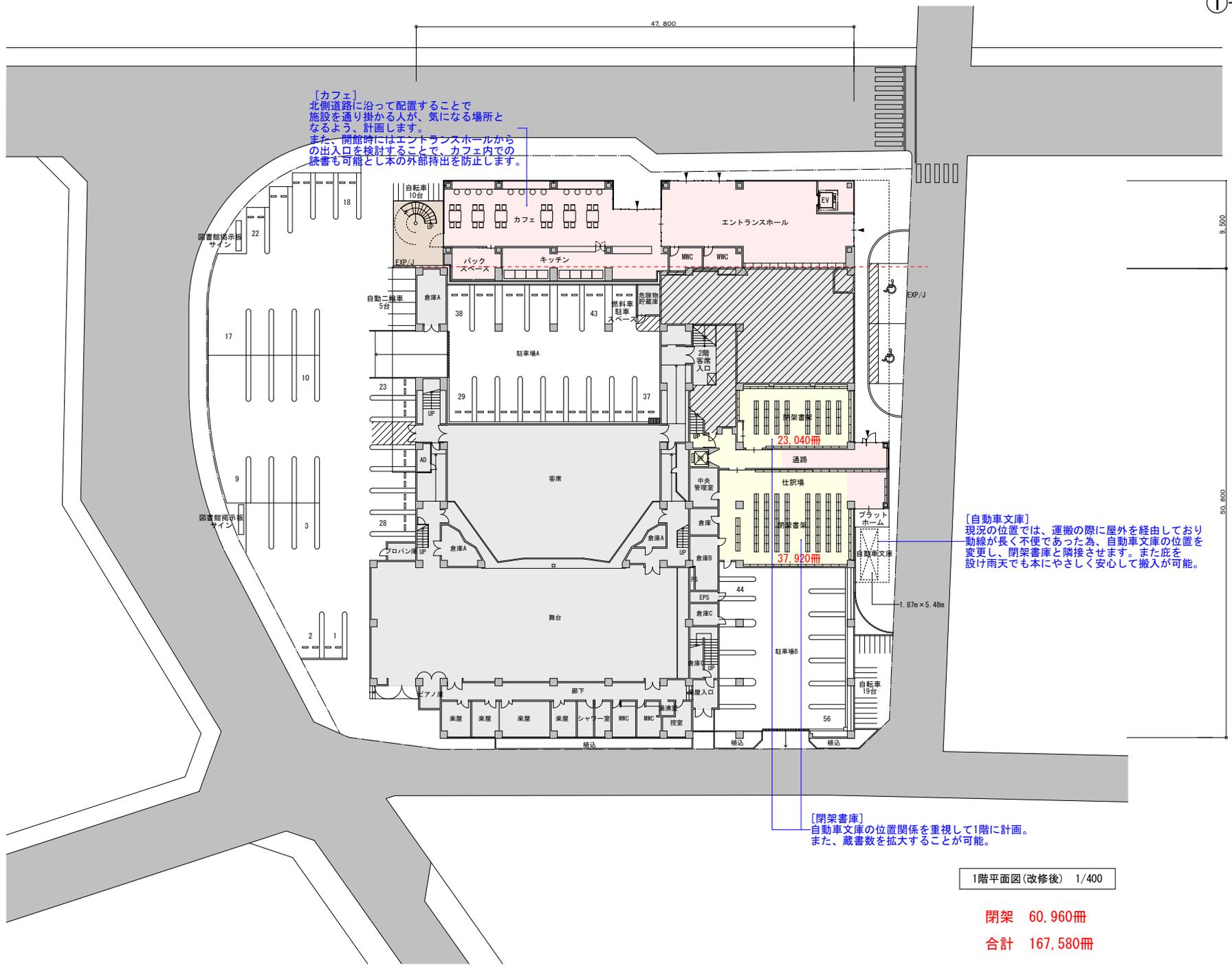


屋外テラス

4階



1階平面図(改修前) 1/400



【カフェ】
北側道路に沿って配置することで
施設を通り掛かる人が、気になる場所と
なるよう、計画します。
また、閉館時にはエントランスホールから
の出入口を検討することで、カフェ内での
読書も可能とし本の外部持出を防止します。

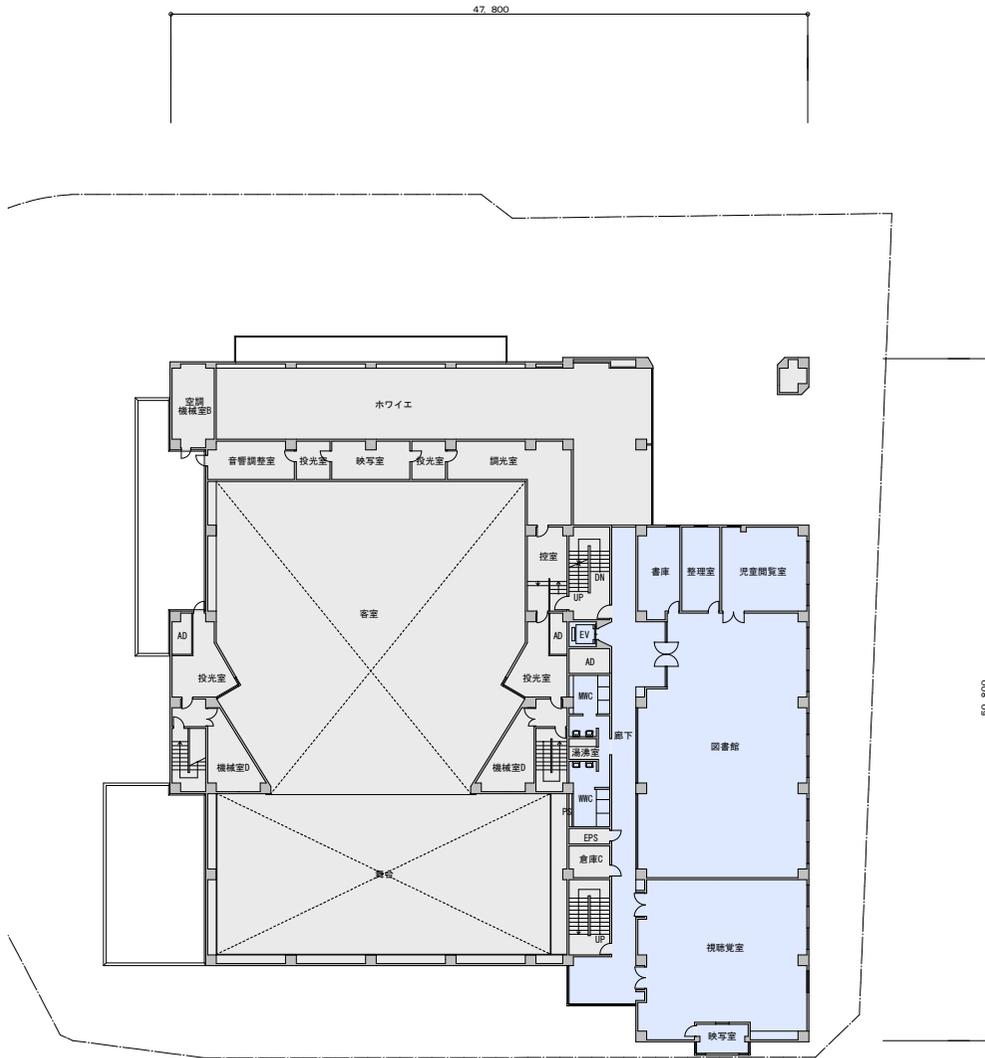
【自動車文庫】
現況の位置では、運搬の際に屋外を経由しており
動線が長く不便であった為、自動車文庫の位置を
変更し、閉架書庫と隣接させます。また庇を
設け雨天でも本にやさしく安心して搬入が可能。

【閉架書庫】
自動車文庫の位置関係を重視して1階に計画。
また、蔵書数を拡大することが可能。

1階平面図(改修後) 1/400

閉架 60,960冊
合計 167,580冊

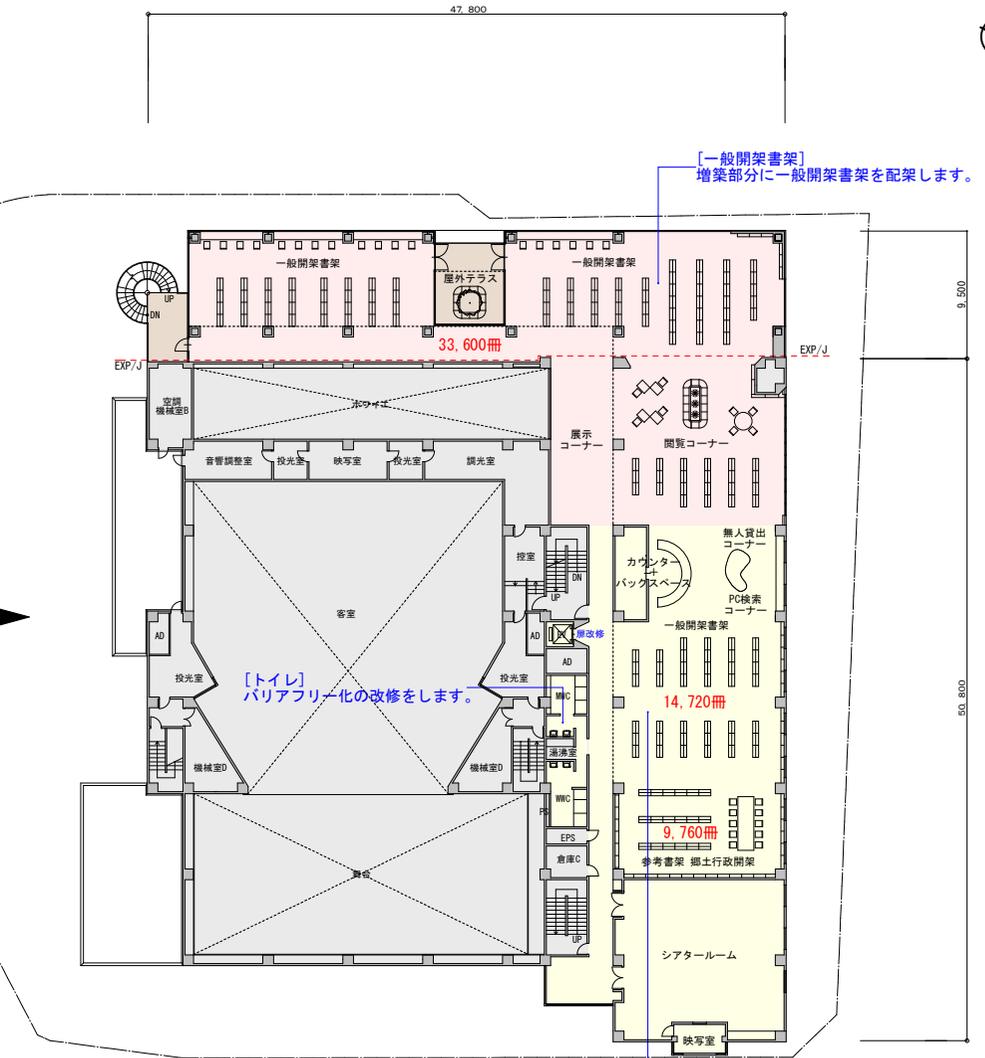
改修前



3階平面図(改修前) 1/400

改修後

①-B 3階平面図



3階平面図(改修後) 1/400

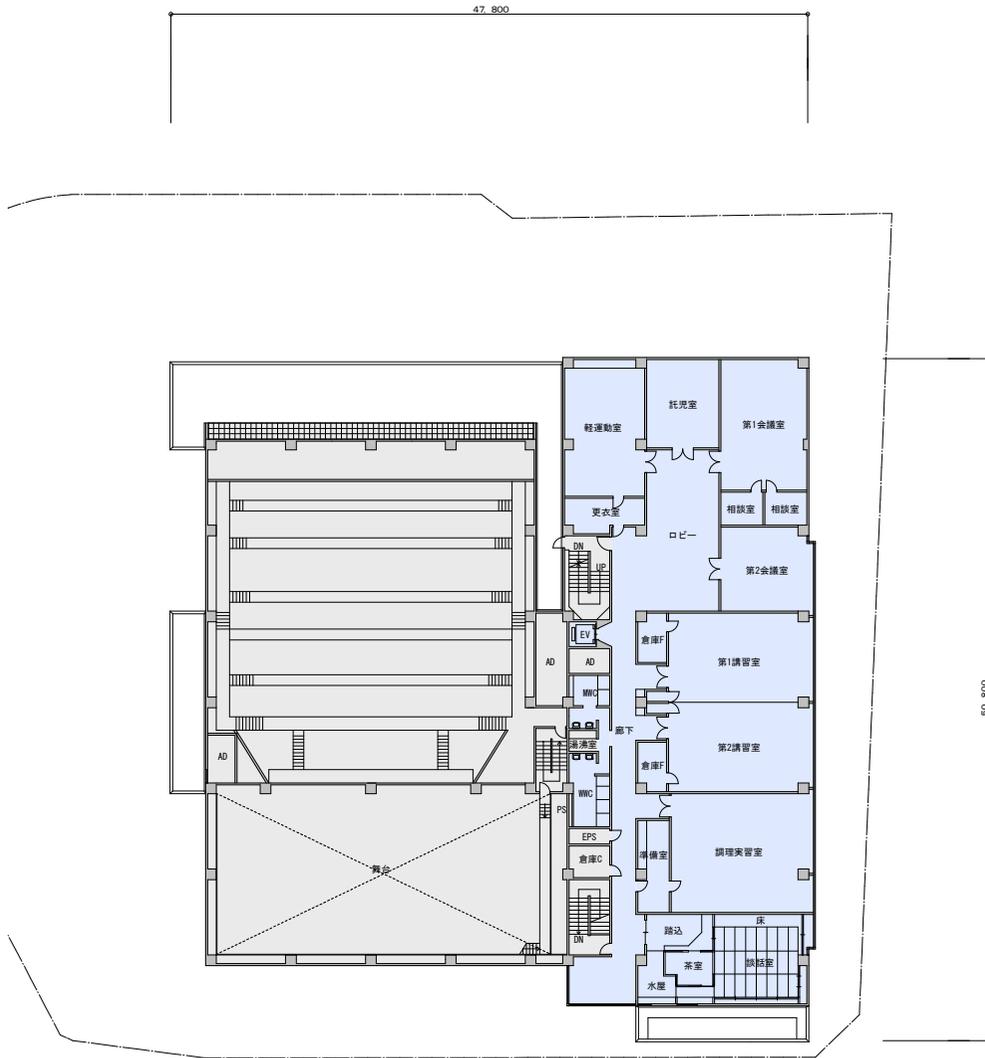
一般 58,080冊
※5段 72,600冊

[一般開架書架]
増築部分に一般開架書架を配架します。

[トイレ]
バリアフリー化の改修をします。

[一般開架書架]
既存間仕切り壁を撤去し開放的な空間を確保します。

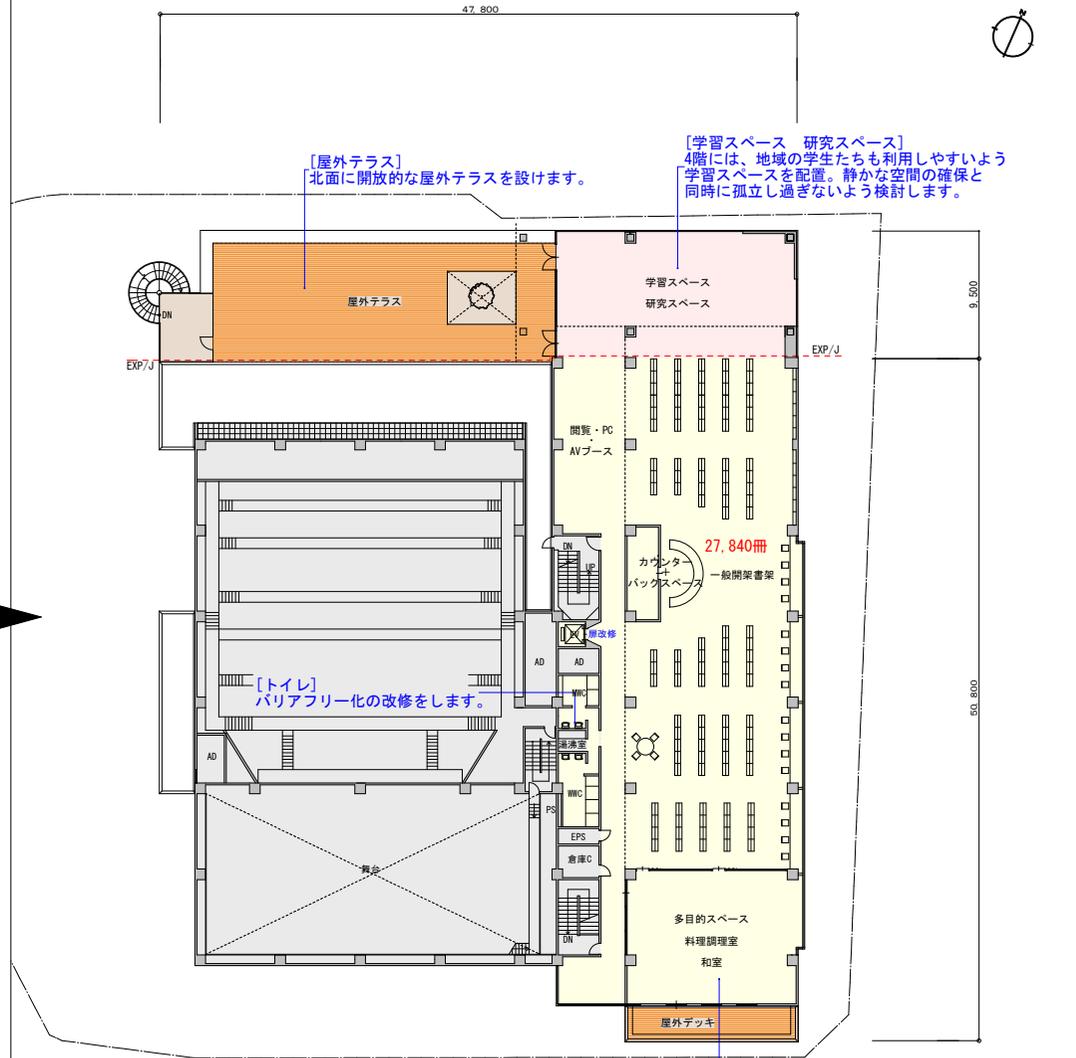
改修前



4階平面図(改修前) 1/400

改修後

①-B 4階平面図



4階平面図(改修後) 1/400

一般 27,840冊

【屋外テラス】
北面に開放的な屋外テラスを設けます。

【学習スペース 研究スペース】
4階には、地域の学生たちも利用しやすいよう
学習スペースを配置。静かな空間の確保と
同時に孤立し過ぎないように検討します。

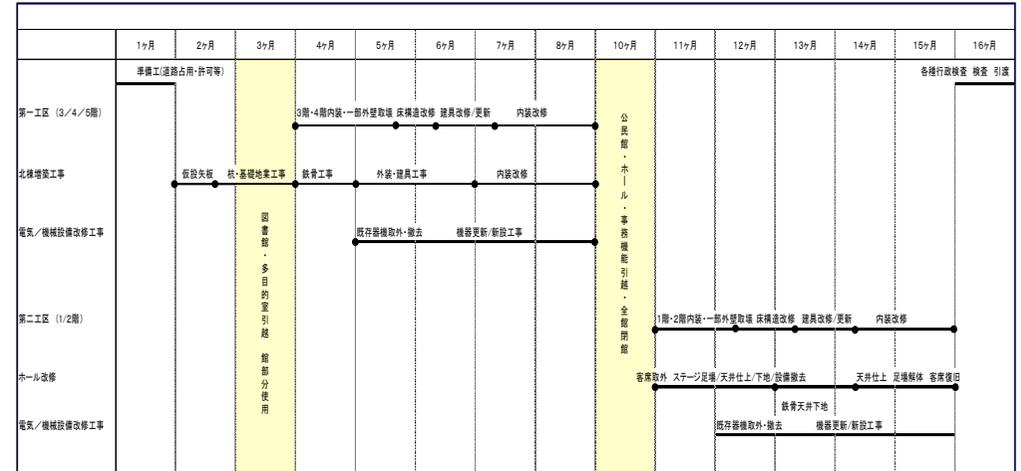
【トイレ】
バリアフリー化の改修をします。

【多目的スペース 料理調理室 和室】
伝統の町・芸術の町として知られる
備前市ならではの個性とし、
「料理実習」や「陶芸教室」などの
ものづくりを通して学ぶ場所とします。
図書館休館日にも利用できるよう
エリア分けを行います。

工事費概算見積

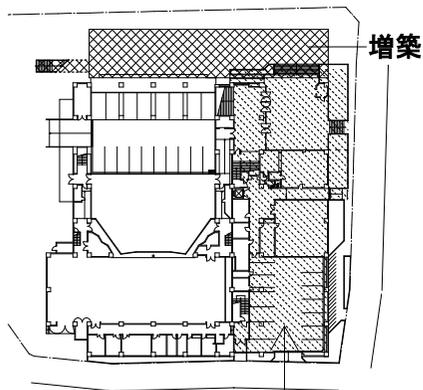
工事費概算 合計 1,874,000,000 (消費税込)		
区分	金額	
	既存改修部分	増築・増床部分
建設費	738,200,000 (円)	1,008,800,000 (円)
仮設工事	48,000,000 (円)	18,000,000 (円)
取壊工事		
基礎工事	106,000,000 (円)	195,000,000 (円)
躯体工事		
外装工事		
防水工事		
建具工事	180,000,000 (円)	345,000,000 (円)
内装工事		
ユニット工事		
電気受配電設備工事	96,000,000 (円)	97,000,000 (円)
電気設備工事		
空調設備工事	117,000,000 (円)	103,000,000 (円)
衛生設備工事		
昇降機設備工事		30,000,000 (円)
建築延床面積	3,017 (㎡)	2,182 (㎡)
坪単価	736 (千円/坪)	1,380 (千円/坪)
外構工事	23,000,000 (円)	
共通仮設		
現場管理費	102,000,000 (円)	130,000,000 (円)
一般管理費		
消費税	67,200,000 (円)	91,800,000 (円)

特定天井改修工事	125,000,000 (円)
仮設工事	11,250,000 (円)
取壊工事	7,500,000 (円)
躯体工事	17,800,000 (円)
内装改修工事	13,750,000 (円)
電気設備改修工事	11,437,000 (円)
機械設備改修工事	20,000,000 (円)
共通仮設	3,750,000 (円)
現場管理費	9,425,000 (円)
一般管理費	17,587,000 (円)
消費税	12,500,000 (円)

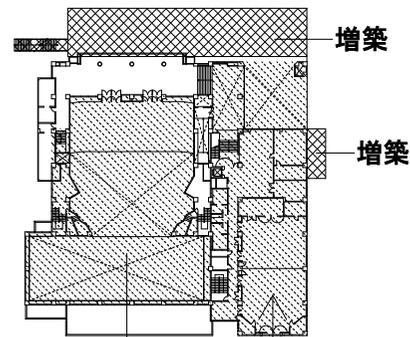


第一期工事の範囲以外は使用可能

第一期工事

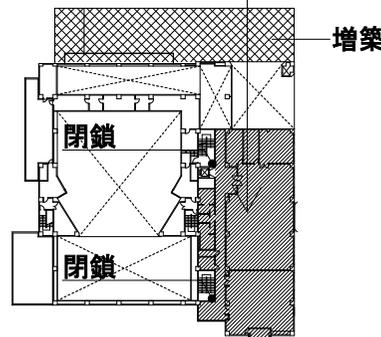


1階平面図



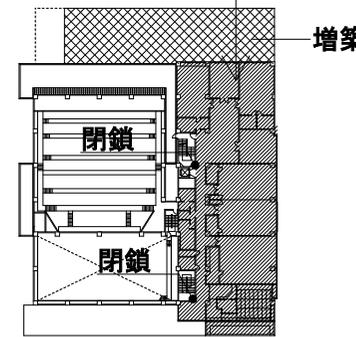
特定天井

2階平面図

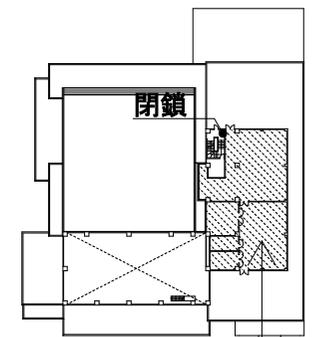


第二期工事

3階平面図



4階平面図



5階平面図

〔ケース2〕他の既存施設をリノベーションし、
図書館として利用



図書館利用できる規模を有する市有施設は他には見当たらないため、
この項目については“対象なし”とする。

〔ケース3〕交通の利便性がよく、広い土地を確保できる場所へ
新図書館を建設（新設）

～人口規模等の類似している近隣市等の例を参考にして～

※人口規模約 3.5～4 万人前後（標準図書館規模の床面積 2,300 m²）



北面イメージ



東面イメージ



南面イメージ



西面イメージ



一般開架書架



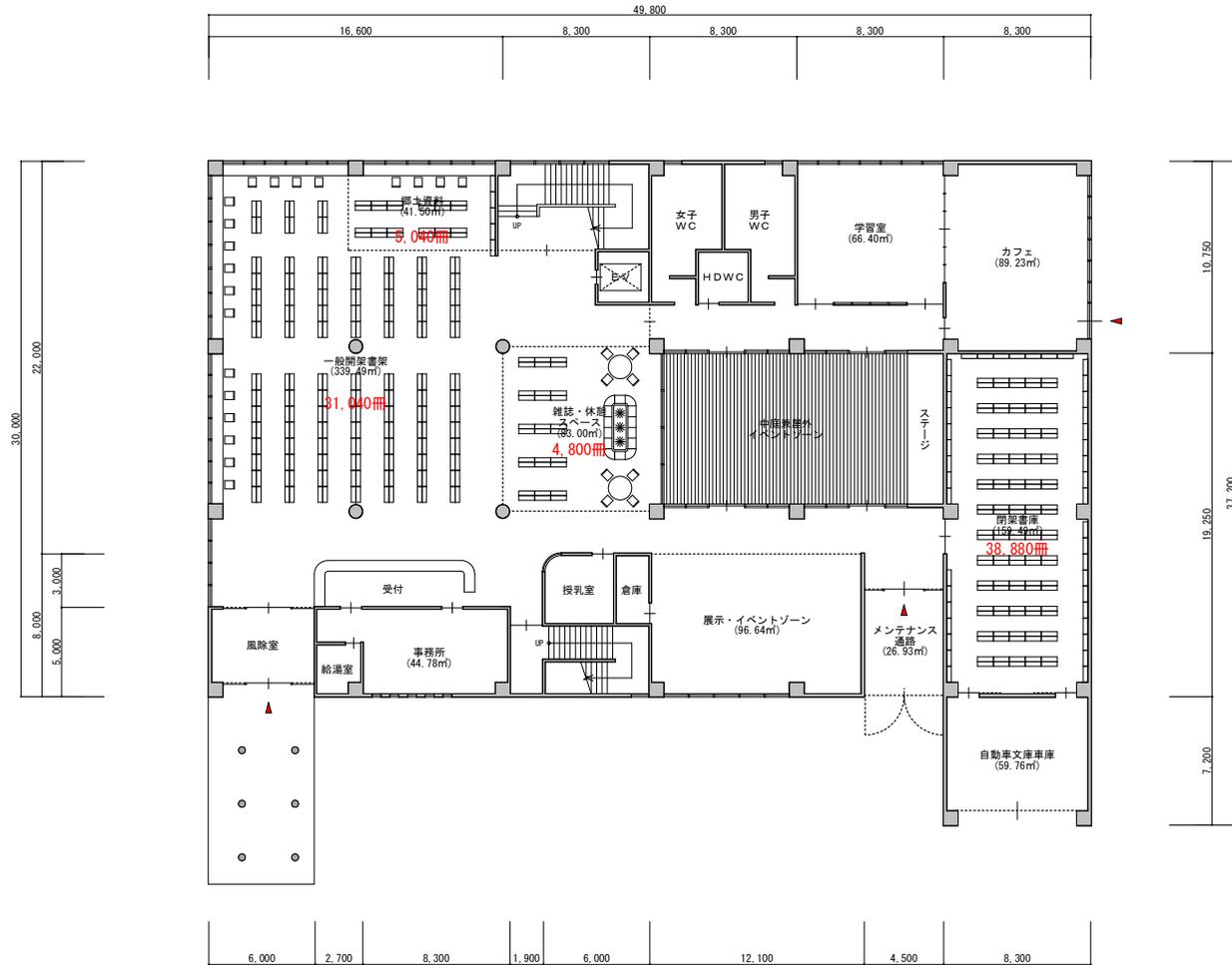
児童開架書架



雑誌・休憩スペース
1階

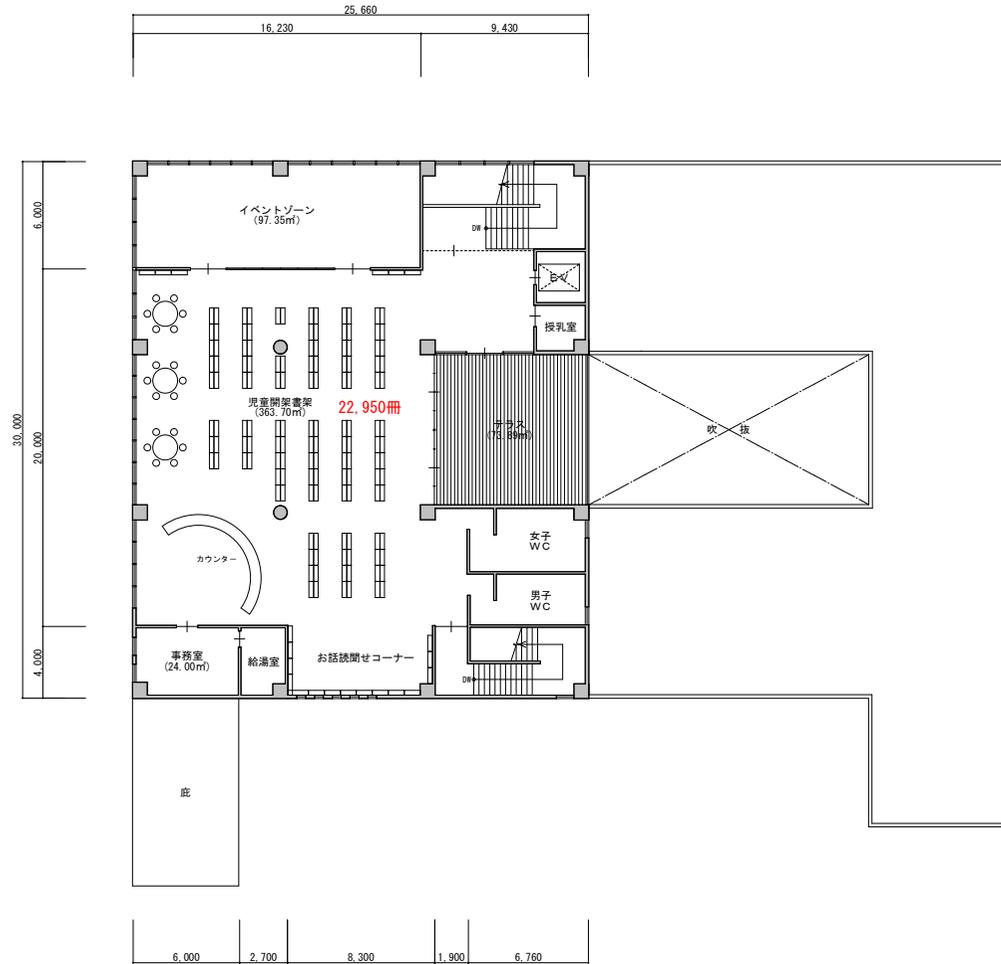


お話し聞かせコーナー
2階



1階平面図(新築) 1/300

1階床面積 : 1,415.98m²

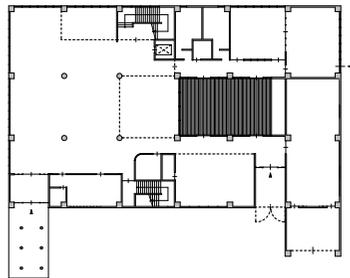


2階平面図(新築) 1/300

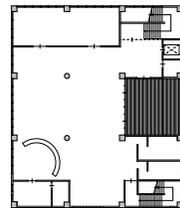
2階床面積：769.80㎡

工事費概算見積

工事概算 合計 1,898,400,000 円(消費税込)	
区分	金額
諸設費	1,544,000,000 (円)
仮設工事	31,000,000 (円)
基礎工事	240,000,000 (円)
躯体工事	
外装工事	
防水工事	
建具工事	366,000,000 (円)
内装工事	
ユニット工事	
電気受変電設備工事	186,000,000 (円)
電気設備工事	
空調和設備工事	270,000,000 (円)
衛生設備工事	
昇降機設備工事	38,000,000 (円)
建築延床面積	2,200 (㎡)
坪単価	2,320 千円/坪
外構工事	23,000,000 (円)
共通仮設	
現場管理費	390,000,000 (円)
一般管理費	
消費税	154,400,000 (円)



1階平面図



2階平面図

備前市立図書館整備事業 既存施設全面リノベーション案
工事費概算見積

工事概算 合計

597,000,000

区分	金額	
総工事費	597,542,400	
リノベーション工事費	472,542,400	
仮設工事	4,800,000 (円)	17,600,000
取壊工事	12,800,000 (円)	
基礎工事	11,200,000 (円)	43,200,000
躯体工事	32,000,000 (円)	
外装工事	10,240,000 (円)	
防水工事	8,640,000 (円)	
建具工事	17,984,000 (円)	78,784,000
内装工事	30,400,000 (円)	
ユニット工事	11,520,000 (円)	
電気受変電設備工事	30,000,000 (円)	96,000,000
電気設備工事	66,000,000 (円)	
空調和設備工事	102,000,000 (円)	117,000,000
衛生設備工事	15,000,000 (円)	
昇降機設備工事	15,000,000	15,000,000
建築延床面積	2,240 (㎡)	
建築単価	210 (千円/㎡)	
	881 (千円/坪)	
	367,584,000	
共通仮設	11,000,000 (円)	
現場管理費	14,000,000 (円)	62,000,000
一般管理費	37,000,000 (円)	
	429,584,000	429,584,000
消費税	42,958,400 (円)	
特定天井改修工事	125,000,000	
仮設工事	11,250,000 (円)	
取壊工事	7,500,000 (円)	
躯体工事	17,800,000 (円)	
内装改修工事	13,750,000 (円)	
電気設備改修工事	11,437,000 (円)	
機械設備改修工事	20,000,000 (円)	
共通仮設	3,750,000 (円)	
現場管理費	9,425,000 (円)	
一般管理費	17,588,000 (円)	
消費税	12,500,000 (円)	

	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月	7ヶ月	8ヶ月	9ヶ月	10ヶ月	11ヶ月	12ヶ月	13ヶ月
	準備工												各種行政検査 検査 引渡
第一工区 (3/4/5階)		3階・4階内装・一部外壁取壊	床構造改修	建具改修/更新	内装改修								
第二工区 (1/2階)								1階・2階内装・一部外壁取壊	床構造改修	建具改修/更新	内装改修		
木-ル改修							公民館・ホール・事務機能引越 全館閉館						
電気/機械設備改修工事								既存器機取外・撤去		機器更新/新設工事			
								客席取外	ステージ足場/天井上/下地/設備	鉄骨天井下地	天井上	足場解体	客席復旧